



野月 一博
(高志会)

合併十周年を契機に市民の歌を

制定する考えは

今後検討していきたい

議員 合併十周年に、新たな市民の歌を制定する考えはないか。

企画財政部長 市民の歌を制定することは市の花、木、鳥と同様に、合併後の市民の一体感の醸成をさらに図るとともに、市民のふるさと意識の高揚及び本市のイメージアップが図られる意義あるものと思われることから、今後検討していきたいと考えています。

議員 定住自立圏構想の進捗状況と今後の進め方は。

市長 平成二十三年二月七日の上十三地域広域市町村圏協議会市町村長会議において、上十三地域として定住自立圏構想を推進していく方向性で合意しました。その際、上十三地域の特殊性を踏

まえ、上十三地域一本で構想を進めるべきとの意見が出されました。この意見を受け、上十三地域の特殊性について十分に考慮し、十和田市と三沢市が連名で中心市となる複眼型で定住自立圏構想を進めていくことで合意しました。

企画財政部長

近々行う共同中心市宣言を皮切りに本格的に進めていきたいと考えています。具体的には平成二十四年度は定住自立圏形成の年、平成二十五年度は定住自立圏スタートの初年度と位置付けて取り組んでまいります。まずは既存の事業をベースにし、連携するメニューの詳細について固めていきます。

議員

(仮称) 市民交

流プラザ及び(仮称)教育プラザの作業状況は。

企画財政部長

(仮称) 市民交流プラザの基本設計を行う(株)限研吾建築都市設計事務所と(仮称)教育プラザの基本設計を行う(株)安藤忠雄建築研究所とは、周辺のインフラ状況等の確認と整理、設計上の調査や検討が必要な事項の整理を行っております。さらに来年度の実施設計に向け具体的な資料収集を順次進めております。



(仮称) 教育プラザのイメージ

下平・東小稲線平面交差の計画は 測量調査と協議を進めていく



小村 初彦
(公明党)

議員 都市計画道路下平・東小稲線平面交差について、どのような計画で取り組むのか。

建設部長

これまで十和田観光電鉄(株)の電車線と交差することで、高度な交通処理技術と費用が求められ協議が難航しておりました。この度の鉄道事業廃止に伴い、関係機関との協議を加速させる

必要があると考え、平成二十四年度に測量調査と関係機関との協議を進めていきたいと考えています。



下平・東小稲線と三沢十和田線の交差点

議員 ひがし野団地駅、北里大学前駅、高清水駅付近交差点の道路整備計画は。

市長

主要地方道三沢十和田線の慢性的な交通渋滞解消のため、これまでに県に対し右折レーンの整備を要望してきました。このことから軌道敷地の有効利用について、県及び関係機関と右折レーン、バス停車帯の整備も含めた道路整備を検討しています。

議員 路線バス運行に伴い、工業高校前、三農高前主要道路の拡幅整備は。

市長

県と当市を含む関係機関でバス停車帯設置に係る担当者会議を開催しており、平成二十四年にバス停車帯設置に向けて調査測量を実施することとなっています。

議員 今後の除雪の取り組みは。

建設部長

気象や市民情報データの収集分析をし、除雪基準の見直しや減少傾向にある重機の適正台数確保などを図り、より安定した除雪体制の整備に努めていきます。

議員 わだちやマンホールのふちに付着した水の塊を除去する改善策は。

建設部長

融雪プロテクターによる断熱効果の実証実験を行っています。また、除雪の出動基準の見直しや委託業者の指導監督に努めます。